

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : VC-20

SDS 整理番号 : 130000001241

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ケマーズ株式会社

住所 : 東京都港区虎ノ門 4-1-17 神谷町プライムプレイス 日本

電話番号 : 050-3823-0500

緊急連絡電話番号 : 0120 081167

担当部署 : プロダクトステewardシップ&レギュラトリー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 加工助剤
硬化剤

使用上の制限 : 工業用のみ。
製品の販売者と医療用途について契約書で合意を得ている場合を除き、体内移植または体液や体内組織に接触する医療用途にケマーズ™ 製品を使用または販売しないで下さい。より詳細な情報に関しては、ケマーズの担当者にお問い合わせください。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

急性毒性 (経口) : 区分 3

急性毒性 (吸入) : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (肺, 鼻腔)

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

露)

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H301 飲み込むと有毒。
H318 重篤な眼の損傷。
H330 吸入すると生命に危険。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（肺、鼻腔）の障害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き : **安全対策:**
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護眼鏡／保護面を着用すること。
P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P301 + P310 + P330 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

P391 漏出物を回収すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理 番号
ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド	1100-88-5	>= 30 - < 40	1-215 / 3- 2608
石灰石	1317-65-3	>= 1 - < 10	1-122

4. 応急措置

- | | |
|-----------|--|
| 一般的アドバイス | : 事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者 の 診察を受ける。
症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。 |
| 吸入した場合 | : 吸い込んだ場合、新鮮な空気 の 場所へ移動する。
呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。
呼吸が困難な場合には酸素吸入を行う。
直ちに医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 接触した場合、直ちに皮膚を石けんと多量の水で洗い流す。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。 |
| 眼に入った場合 | : 接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間目を洗い流す。
簡単にできる場合には、コンタクトレンズを取り外す。
直ちに医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 飲み込んだ場合、医療従事者の指示がない限り無理に吐かせない。 |

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
水で口をよくすすぐ。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲み込むと有毒。
重篤な眼の損傷。
吸入すると生命に危険。
呼吸器への刺激のおそれ。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

応急措置をする者の保護 : 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性がある場合は、項目 8 の適切な個人保護具を参照のこと（項目 8 を参照）。

医師に対する特別な注意事項 : 支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 知見なし。

特有の危険有害性 : 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。

有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
フッ素化合物
リンの酸化物
塩素化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。

消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置 : 安全な場所に避難する。
訓練を受けたもののみが、再度エリアに立ち入ることができる。
安全な取り扱いのアドバイス（項目 7 を参照）や、個人保護
具の推奨事項に準拠（項目 8 を参照）。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び
機材 : こぼれたものを吸収剤で囲み、濡れた布で覆って、空気中に
物質が出ていくのを最小限に抑えます。
液体を多めに追加して、材料が溶液に入るようにしまし
ょう。
不活性な吸収材で吸収させる。
漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。
本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規
則に従って処理すること。その放出に使用された物質につい
ても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要が
ある。
本 SDS の項目 13 および 15 において、地方自治体および国の
法規制の記載あり。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- 技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。
- 局所排気，全体換気 : 十分な換気ができない場合は、局所排気装置を使用してくだ
さい。
- 安全取扱注意事項 : 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気もしくはスプレーを吸入し
ないこと。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
皮膚への長期のまたは反復接触を避ける。
取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
職場曝露調査の結果に基づき、産業性の衛生および安全性の
実行規定に従い取り扱うこと
容器を密閉しておくこと。
すでに反応が出ている人、および喘息、アレルギー、慢性ま

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

たは再発性呼吸器疾患にかかりやすい人は、呼吸器刺激物または感作物質の使用について医師に診断を受ける必要があります。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。

接触回避 : なし。

衛生対策 : 通常の使用中に化学物質へのばく露の可能性がある場合は、作業場所の近くにアイフラッシングシステムおよび安全シャワーを設置してください。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

保管

安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。
施錠して保管すること。
栓をしっかり閉める。
涼しい、換気の良い場所で保管する。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 次の製品種類といっしょに保管しない :
強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置**作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
Limestone	1317-65-3	OEL-M (吸入性粉じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	8 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)

設備対策 : 作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。
十分な換気ができない場合は、局所排気装置を使用してください。

保護具

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

- 呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置が利用できない場合、またはばく露評価で推奨ガイドラインの範囲外のばく露が示された場合は、呼吸保護器具を使用しましょう。
- フィルタータイプ : 微粒子用タイプ
- 手の保護具
- 材質 : ニトリルゴム
- 手袋の厚さ : 0.38 mm
- 摩耗時間 : 480 min
- 備考 : 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。この製品が手袋を透過する時間は分かっていない。手袋を頻繁に取り替える。
- 眼の保護具 : 次の個人保護具を着用する :
耐化学薬品性の保護眼鏡を必ず着用する。
飛散が起こりそうな場合に着用 :
フェイスシールド
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。
不浸透性の保護衣（手袋、前掛け、長靴など）を使用することで皮膚への接触を避ける。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : ペレット
- 色 : 白色, 不透明
- 臭い : かすか
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点／凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

可燃性（固体、気体）：データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限／可燃上限：データなし
値

爆発範囲の下限／可燃下限：データなし
値

引火点：非該当

分解温度：データなし

pH：5.5

蒸発速度：非該当

自然発火温度：データなし

粘度

動粘度（動粘性率）：非該当

溶解度

水溶性：僅かに溶ける

n-オクタノール／水分配係数：非該当
（log 値）

蒸気圧：非該当

密度及び／又は相対密度
比重：1.5

相対ガス密度：非該当

爆発特性：爆発性なし

酸化特性：本製品は酸化性物質としては分類されない。

粒子特性

粒子サイズ：データなし

10. 安定性及び反応性

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: なし。
危険有害な分解生成物	: 危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 皮膚接触
摂取
眼に入った場合

急性毒性

飲み込むと有毒。
吸入すると生命に危険。

製品:

急性毒性（経口） : 急性毒性推定値: 131.06 mg/kg
方法: 計算による方法

急性毒性（吸入） : 急性毒性推定値: 0.1524 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: 計算による方法

成分:**ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オス): 43 mg/kg

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット, オス): > 0.08 - 0.2 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト

石灰石:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 420
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 3 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

皮膚腐食性／刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

石灰石:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

重篤な眼の損傷。

成分:**ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

種 : ウサギ
結果 : 眼に対する不可逆的影響
結果 : 眼に入ると毒性がある。

石灰石:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

方法 : OECD 試験ガイドライン 405
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

試験タイプ : マキシマイゼーション試験
暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : モルモット
結果 : 陰性

石灰石:

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)
暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : マウス
方法 : OECD 試験ガイドライン 429
結果 : 陰性
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

石灰石:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

石灰石:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

呼吸器への刺激のおそれ。

成分:

ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたる、又は反復暴露による臓器（肺、鼻腔）の障害。

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

成分:**ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

暴露の主経路	: 吸入
標的臓器	: 肺, 鼻腔
アセスメント	: 濃度範囲 0.02 mg/l/6h/d 未満で動物における重大な健康への悪影響が発生した。

反復投与毒性**成分:****ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

種	: ラット, オス
NOAEL	: 0.0051 mg/l
LOAEL	: 0.015 mg/l
投与経路	: 吸入(粉じん/ミスト/煙)
曝露時間	: 2 週

石灰石:

種	: ラット
NOAEL	: > 300 mg/kg
投与経路	: 飲み込んだ場合
曝露時間	: 28 Days
方法	: OECD 試験ガイドライン 422
備考	: 類似する物質から得られたデータに基づく

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

12. 環境影響情報**生態毒性****成分:****ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:**

ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性	: EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202
-------------------------	--

藻類/水生生物に対する毒性	: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.59 mg/l 曝露時間: 72 h 方法: OECD 試験ガイドライン 201
---------------	--

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

EC10 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.25 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 長期 (慢性))

石灰石:

魚毒性 : LL50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
被験物質: 水性画分
方法: OECD 試験ガイドライン 203
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LL50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
被験物質: 水性画分
方法: OECD 試験ガイドライン 202
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

藻類／水生生物に対する毒性 : EL50 (*Desmodesmus subspicatus* (緑藻)): > 14 mg/l
曝露時間: 72 h
被験物質: 水性画分
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 溶解度限界値における毒性無し
類似する物質から得られたデータに基づく

EL10 (*Desmodesmus subspicatus* (緑藻)): > 14 mg/l
曝露時間: 72 h
被験物質: 水性画分
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 溶解度限界値における毒性無し
類似する物質から得られたデータに基づく

微生物に対する毒性 : EC50: > 100 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

残留性・分解性

成分:

ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 1 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301D

生体蓄積性

成分:

ベンジルトリフェニルホスホニウム クロリド:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -0.7
(log 値) 方法: OECD 試験ガイドライン 107

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 地方自治体の規制に従い処分する。
廃棄物を下水へ排出してはならない。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。
特に指定が無い場合、未使用品として廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 3464
国連輸送名 (Proper shipping name) : ORGANOPHOSPHORUS COMPOUND, SOLID, TOXIC, N. O. S.

VC-20

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

(Benzyltriphenylphosphonium chloride)

国連分類 (Class)	: 6.1
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 6.1
環境有害性	: 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3464
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Organophosphorus compound, solid, toxic, n.o.s.

(Benzyltriphenylphosphonium chloride)

国連分類 (Class)	: 6.1
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Toxic
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 677
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 670

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3464
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ORGANOPHOSPHORUS COMPOUND, SOLID, TOXIC, N.O.S. (Benzyltriphenylphosphonium chloride)
国連分類 (Class)	: 6.1
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 6.1
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-A
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号	: 151
-------------	-------

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 毒物類

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 毒物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

その他の情報 : Chemours™ および Chemours Logo は The Chemours Company の商標です。
ご使用前に、ケマーズ社の安全情報をお読み下さい。
更に詳しい情報が必要な場合は、各地のケマーズ支社または指定代理店にお問い合わせください。

詳細情報

引用文献 : 自社技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/> の検

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/08
14.1	2024/11/12	1328207-00049	初回作成日: 2017/02/27

索引結果

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

日本産業衛生学会（許容濃度 : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度）

日本産業衛生学会（許容濃度 : 許容濃度） / OEL-M

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDSの頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせ、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA